

I 学校の状況

1 基本数

学級数 14 (特別支援学級2を含む)

生徒数 (1学年124 2学年146 3学年126 合計396)

教職員数 校長1 教頭1 総括事務長1 指導教諭1 教諭21 養護教諭1 事務主幹1

2 学校の状況

平成30年度は、生徒指導体制の確立に向けて取り組んだことにより、生徒が安心して生活できるようになってきたが、生徒の自己有用感や規範意識が低かったり、人間関係形成能力が十分身に付いていなかったりするなどの課題がある。また、不登校生徒が多いなどの課題がある。その解決に向けて、組織的な生徒指導体制の充実にさらに取り組む必要がある。

学力面では、おおむね基礎的・基本的な学習内容は定着しているものの、個人差が大きく個に応じた指導が必要である。また、生徒の学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力等を高めるためにも授業づくり(授業改善)に組織的に取り組む必要がある。さらに、家庭学習についても課題があることから、保護者との連携を図りつつ、授業との関連を踏まえた取組が必要である。

校区には廿日市市最大の児童数の小学校が1校のみであることから、引き続き、小学校との連携を充実させ、学力面や生徒指導面における指導の充実に取り組む必要がある。また、学校の教育活動を充実させるためにも、地域学校協働活動を中心として、地域との連携を進める必要がある。

II 教育目標

「友あり 声あり 意気あり(向学心・使命感・未来への夢<校歌より>)」

○ めざす生徒像

- ・ 夢に向かって学ぶ
- ・ 人を思いやる
- ・ 志高い生徒

○ めざす教職員像

- ・ 現状から逃げることなく生徒の心に添い
- ・ 専門力(授業力、生徒指導力)を磨く
- ・ 規律正しい教職員

○ めざす学校像

- ・ 友あり 声あり 意気あり
- ・ 学んで良かった(生徒) 通わせて良かった(保護者) あって良かった(地域) 働いてよかった(教職員)

Ⅲ 経営理念(ミッション・ビジョン)

- 1 地域社会における本校のミッション(使命)
 - ・ 地域の資産となる人材の育成
- 2 本校の将来像
 - ・ 安全で安心して学べ「知・徳・体」のバランスのとれた育成を通し、地域に貢献できる生徒を輩出できる学校

Ⅳ 具体的実践

～キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」の育成を柱に～

- 1 夢に向かって学ぶ生徒(課題対応能力)の育成
授業改善への組織的な取組を通して、学校全体としての授業力を高めることにより、生徒の学力の向上を図る。
- 2 人を思いやる生徒(人間関係形成・社会形成能力)の育成
積極的な生徒指導への組織的な取組を通して、学校全体としての生徒指導力を高めることにより、生徒の自己有用感の育成を図る。
- 3 志高い生徒(自己理解・自己管理能力)の育成
基本的な生活習慣の定着への組織的な取組を通して、学校全体の共通理解を深め、生徒の自己管理能力の育成を図る。
- 4 地域に開かれた信頼される学校づくり(キャリアプランニング能力の育成)
小学校、保護者、地域等との連携への組織的な取組を通して、学校教育の充実を図り、開かれた信頼される学校づくりをすすめることにより、生徒の将来への夢の実現に貢献する。

友あり 声あり 意気あり

向学心・使命感・未来への夢

学校経営目標 **地域の資産となる人材の育成**

～学んでよかった 学ばせてよかった あってよかった 働いてよかった～
と思える学校

学校教育目標

地域に貢献できる生徒の育成

～「知・徳・体」のバランスの取れた生徒～

めざす生徒像

- (知) **夢に向かって学ぶ生徒**
- (徳) **人を思いやる生徒**
- (体) **志高い生徒**

具体的実践（キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」の育成）

夢に向かって学ぶ生徒

課題対応能力の育成

授業改善への組織的な取組を通して、学校全体としての授業力を高めることにより、生徒の学力の向上を図る。

人を思いやる生徒

人間関係・社会形成能力の育成

積極的な生徒指導への組織的な取組を通して、学校全体としての生徒指導力を高めることにより、生徒の自己有用感の育成を図る。

志高い生徒

自己理解・自己管理能力の育成

基本的生活習慣の定着への組織的な取組を通して、学校全体の共通理解を深め、生徒の自己管理能力の育成を図る。

地域に開かれた信頼される学校 キャリアプランニング能力の育成

小学校、保護者、地域等との連携への組織的な取組を通して、学校教育の充実を図り、開かれた信頼される学校づくりをすすめることにより、生徒の将来への夢の実現に貢献する。